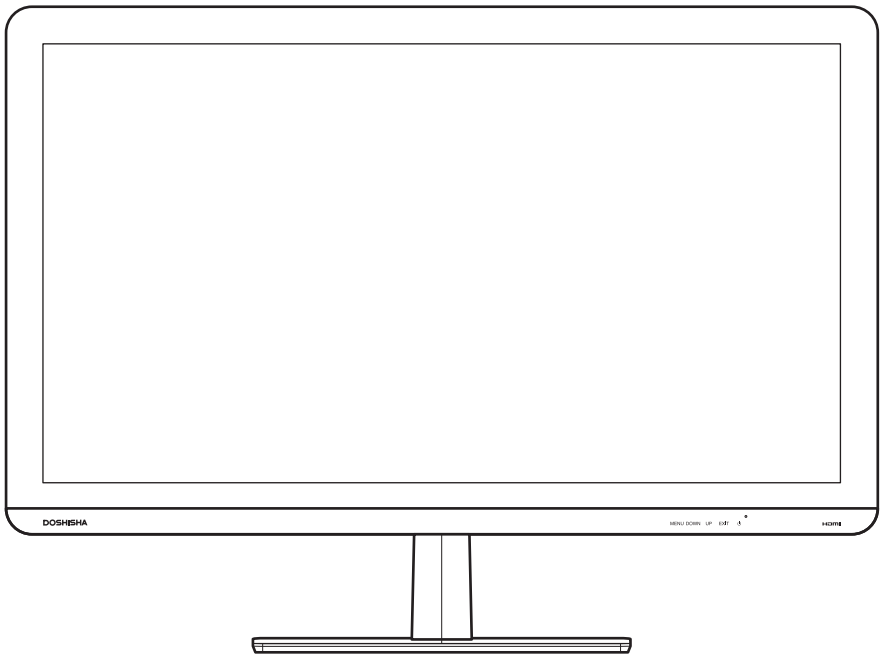
DOSHISHA

液晶ディスプレイ　D281US

取扱説明書



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
- 保証書は必ず「販売店／購入日」などの記入を確かめて、お買い上げの販売店からお受け取りください。

株式会社ドウシシャ

7B15B

安全上のご注意

（この取扱説明書の文中に出てくる「液晶ディスプレイ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています）

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

禁止

電源コードの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- コードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがディスプレイの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。
- 付属の AC アダプターは本機以外には使用しないでください。

高圧注意

分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

絶対に水にぬらさない

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアーピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに電源スイッチを切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャサービスセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

禁止

通風孔をふさがない
通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

指示

水平で安定した所に置く
倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く
次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。
- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。

指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために
- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネル前面のガラスを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない
ガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
また、目に入ったり皮膚に付いたりした場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
  汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。
    また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
    ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの前面は、強化ガラスを張り付けています。 ガラス保護のため、次のことをお守りください。
  - ガラスに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
    傷付き・変色の原因となります。
  - ガラスの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
    色ムラ・変色の原因となります。
  - ガラスの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
    傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルやガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、液晶ディスプレイの上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

目　次

● はじめに

安全上のご注意 2
使用上のご注意とお願い 5
　輝点・欠点について 5
　お手入れについて 5
　輸送について 5
　本機の温度について 5
　室内温度について 5
　バックライトについて 5

● 準備

付属品を確認する 7
各部の名称 8
　前面 8
　背面 8
スタンドの取り付け 9
　角度の調節 9
　セキュリティスロット 9
パソコン・AV 機器との接続 10
壁に掛けて使用するとき 12
　スタンドを取りはずす 12

● 基本の操作

電源を入れる／電源を切る 14
　電源を入れる 14
　電源を切る 14
接続した機器の映像を見る（入力切換） 15
　入力切換をする 15
色モードを切り換える 16
メニュー画面の操作方法 17

● 調整と設定

映像調整メニュー 18
色調整メニュー 19
設定メニュー 20
入力切換メニュー 21
音声設定メニュー 22
その他メニュー 23
表示解像度 24
　DVI 接続での表示 24
　HDMI 接続での表示 24
　DP 接続での表示 25
　各種ドライバなど 25

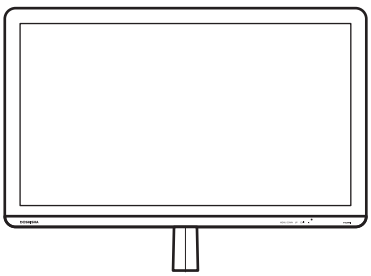
● その他

故障かな？と思ったら 26
　まず確認してください 26
　こんな場合は故障ではありません 26
　全般 26
　映像 27
　音声 27
主な仕様 28
保証とアフターサービス 29

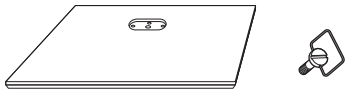
付属品を確認する

本製品をご購入時には、以下のものが含まれています。すべて揃っているかご確認ください。

本体× 1

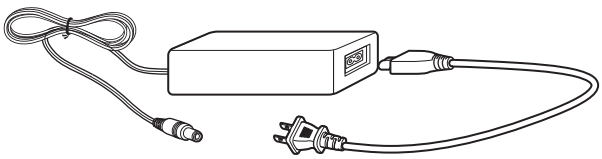


スタンド× 1

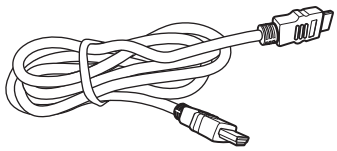


スタンド固定ネジ× 1

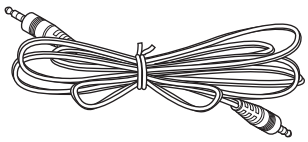
AC アダプタ× 1



HDMI ケーブル× 1

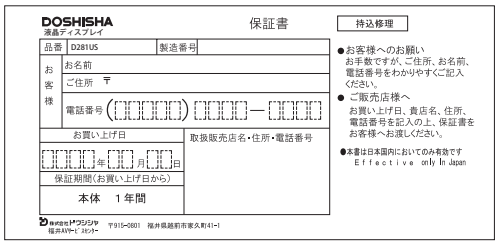


オーディオケーブル



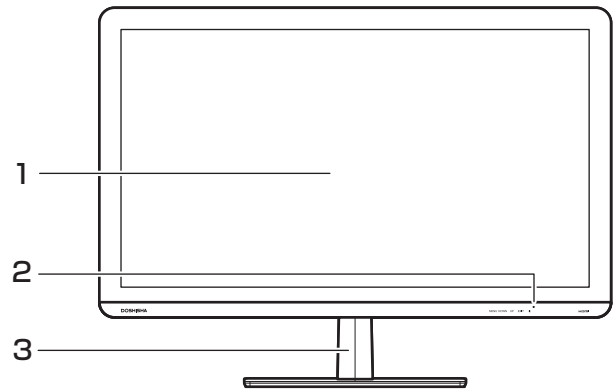
取扱説明書× 1

保証書× 1



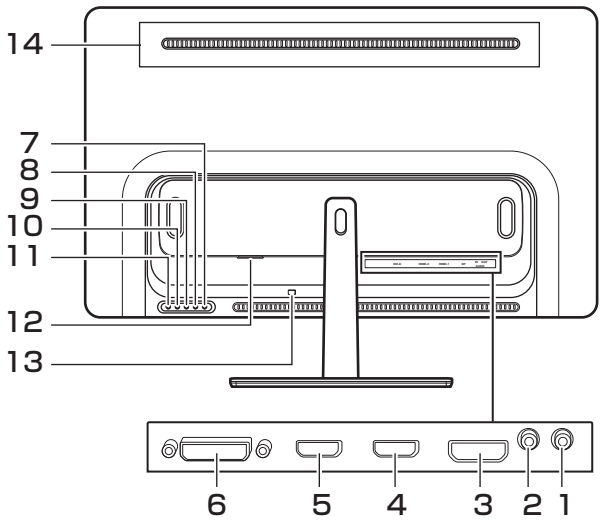
各部の名称

前面



1 液晶画面
2 電源ランプ
3 スタンド

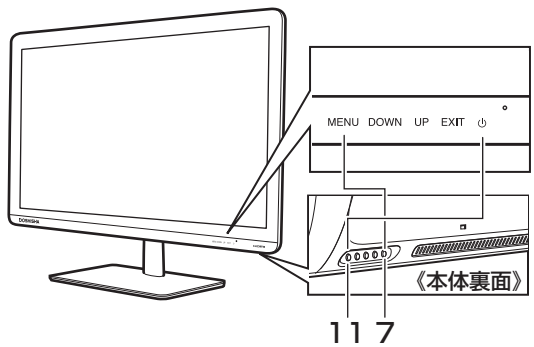
背面



1 ヘッドフォン出力
2 アナログ音声入力
3 DP(ディスプレイポート)入力
4 HDMI1 入力
5 HDMI2 入力
6 DVI-D 入力
7 メニュー確定ボタン [MENU]
8 左ボタン [DOWN]
9 右ボタン [UP]
10 戻るボタン[EXIT]
11 電源ボタン [⏻]
12 DC 入力端子
13 セキュリティスロット
14 通風孔 （本体下側にもあり）

● 画面右下の表示のうしろに対応するボタンがあります

画面右下に記されている、「MENU」のうしろにメニュー確定ボタンが、⏻マークのうしろに電源ボタンがあります（他のボタンも同様）。



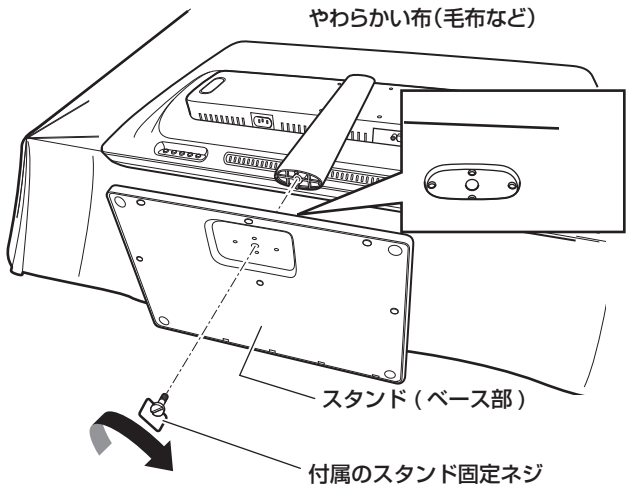
画面右下の表示をもとに操作することができます。

スタンドの取り付け

本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

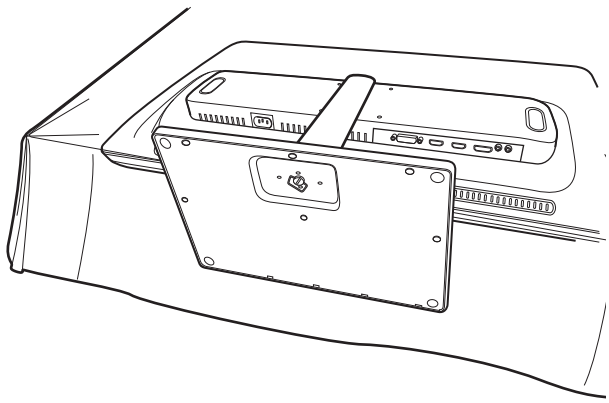
1 **台などの上にやわらかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属のネジ（1 本）で固定する**



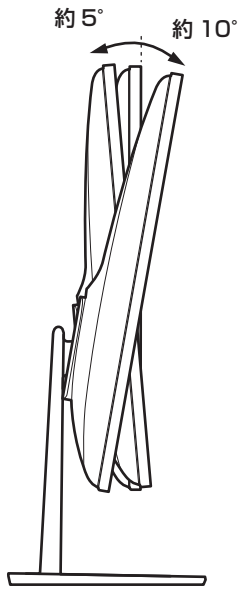
⚠ご注意

- スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
  液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。



角度の調節

本機はスタンドをつけた状態で上下角度を調整することができます。角度の調整範囲は下方向が約 10˚、上方向が約 5˚ です。



⚠ご注意

- 角度調整をする際、ガラス面を強く押さないでください。
- 角度調整をする際、スタンド可動部に指を挟まないよう注意してください。

セキュリティスロット

本機裏面に、盗難防止に役立つセキュリティスロットを備えています。ケンジントン・スロット規格に適合したセキュリティワイヤなどご使用ください。

⚠ご注意

- ぴったりと取り付かない、グラグラする相性の悪いものや粗悪品を使用すると、セキュリティ効果がなかったり、セキュリティスロット自体を壊してしまうことがあります。

パソコン・AV 機器との接続

接続方法によって対応する解像度や音声出力が異なりますのでご注意ください（→ 24 ページ）

本機に接続するパソコンや AV 機器には、HDMI 端子、DP(ディスプレイポート) 端子、DVI 端子のいずれかが必要です。 **D-Sub9 ピン アナログ RGB(VGA) 出力端子しか備えていないパソコンは接続できません。**

- パソコン側・AV 機器側に HDMI 出力端子が付いている場合は、付属の HDMI ケーブルで接続できます。

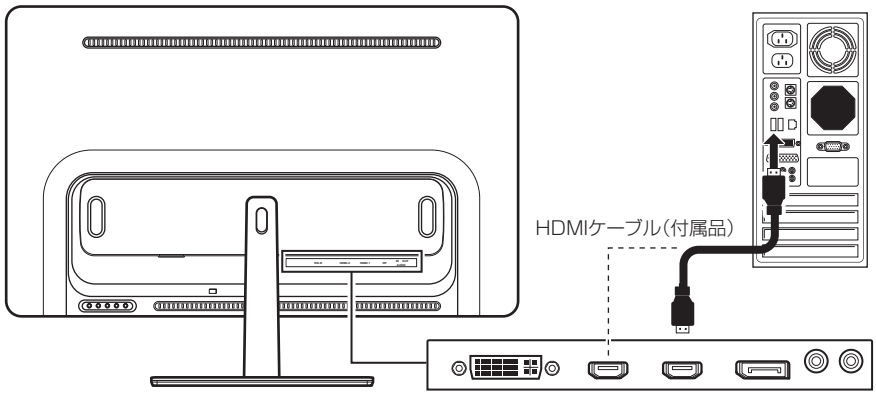
※ 4K 60Hz の映像を入力できるのは、HDMI1 端子だけです。 **HDMI2 端子に入力できる 4K 映像は 30Hz** です。

- パソコン側に DP（ディスプレイポート）端子が付いている場合は、別売の DP ケーブルなどで接続できます。

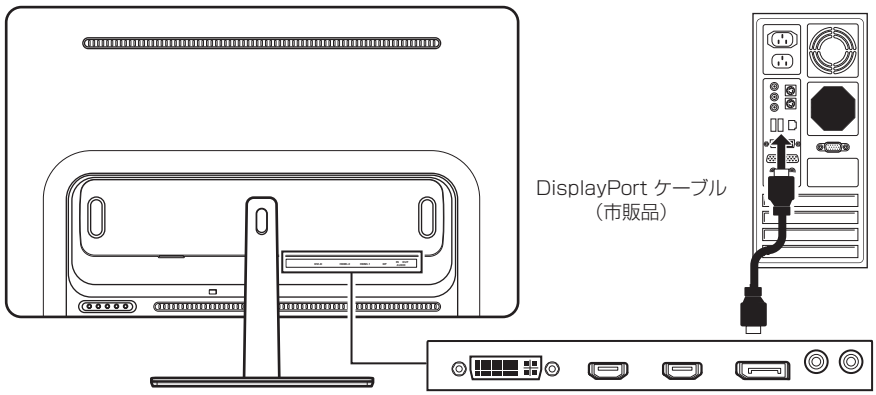
※ HDMI または DP 端子で直接接続すると、音声も接続されるため、音声ケーブルの接続は必要ありません。

- 本機の初期状態では、音量が設定されています。初めての接続で起動音など音声が出ますので、音がすると困る環境のときは、音量を下げておいてください（「音声設定メニュー」→ 22 ページ）。

● HDMI ケーブルで接続する場合



● Display Port ケーブルで接続する場合



⚠ご注意

- 接続するパソコンや AV 機器に付属している取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様を確認してください。
- 接続するパソコンや AV 機器によっては、内容を正しく表示できないことがあります。
  例えば 4K の映像を 25Hz または 50Hz で再生する AV 機器がありますが、本機では表示することができません。
  再生モード・出力信号を変更できる機器であれば変更してください。

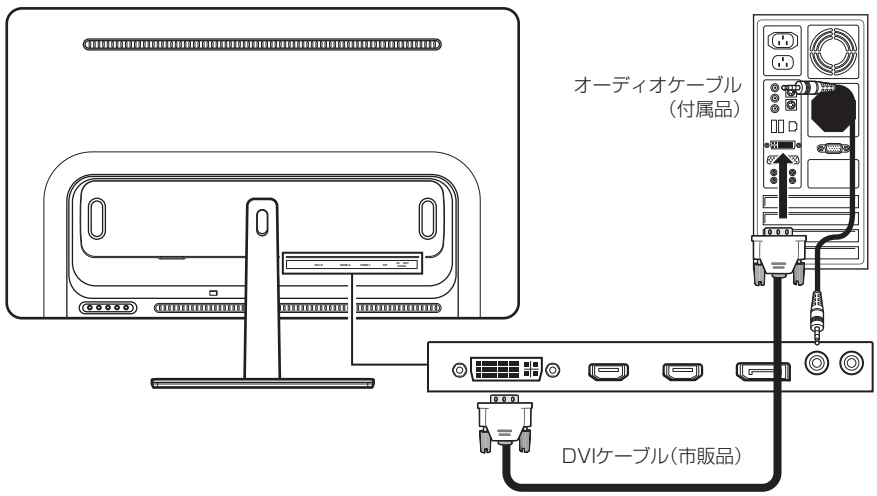
お知らせ

- 接続する前に、パソコンやAV機器に付属している取扱説明書の仕様を確認し、表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください（「表示解像度」→24ページ）。

接続方法によって対応する解像度や音声出力が異なりますのでご注意ください（→ 24 ページ）
- パソコン側に DVI 出力端子が付いている場合は、別売の DVI ケーブルなどで接続できます。

※ DVI 端子に接続すると、DVI 端子だけでは音声信号が伝わらないため、付属のオーディオケーブルを接続する必要があります。
※ DVI のケーブルは付属していませんので、接続方法に合わせて用意してください。

● DVI ケーブルとオーディオケーブルで接続する場合



⚠ご注意

- 接続するパソコンや AV 機器に付属している取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様を確認してください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。
- 本機の DVI での接続は、アナログ入力には対応していません。DVI 端子に DVI-VGA ケーブル、DVI-VGA 変換アダプターなど使用しても、VGA 端子からのアナログ出力は表示されません。

お知らせ

- 接続する前に、パソコンやAV機器に付属している取扱説明書の仕様を確認し、表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください（「表示解像度」→24ページ）。

壁に掛けて使用するとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- **本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。**
- **壁への取り付けが不完全または誤った据え付け方をすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。**

本機からスタンドを取りはずす必要があります。

スタンドを取りはずす

1 **スタンドの取り付け（→ 9 ページ）のように液晶部分を台の上に載せる**

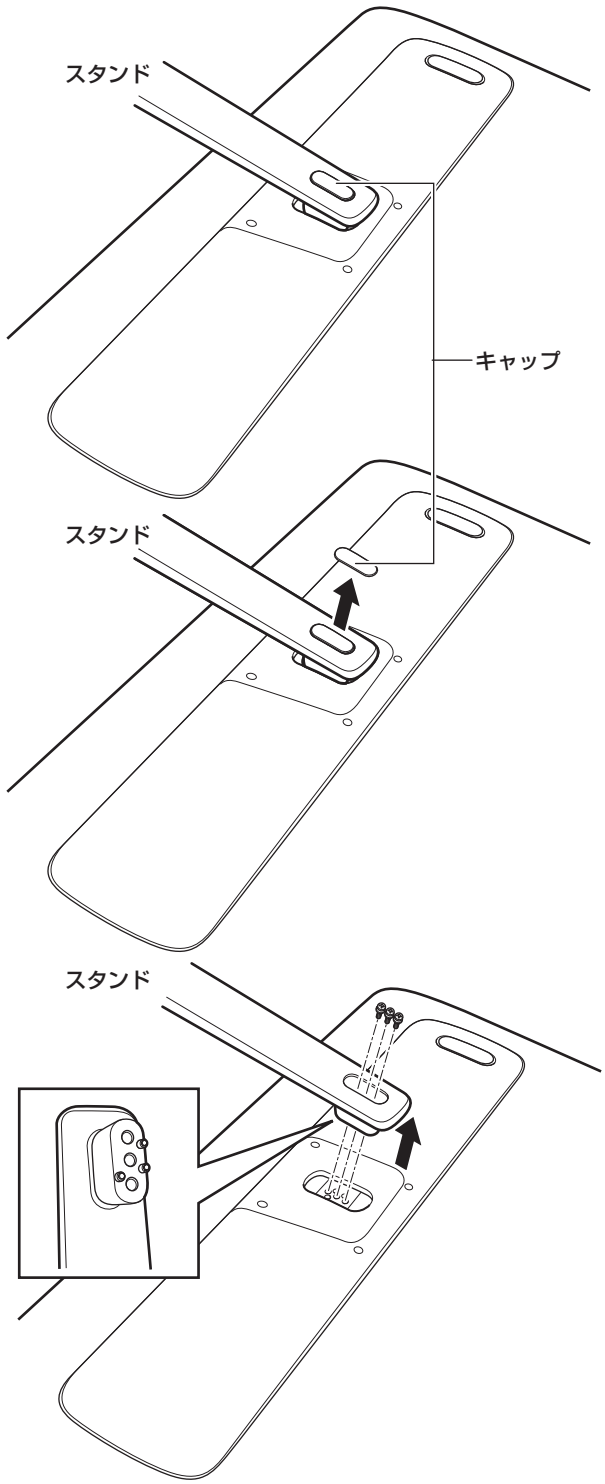
2 **スタンド後方に取り付けられているキャップを取りはずす**

3 **キャップを取りはずしたところに 3 本のネジがあるため、そのネジを取りはずす**

スタンドを押さえて、本体液晶部に落とさないように充分注意の上、ネジを取りはずしてください。

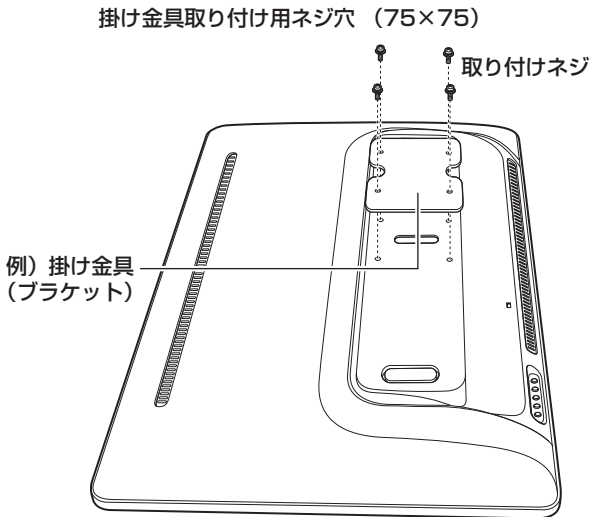
4 **はずしたネジを本体のネジ穴に取り付けておく**

部品をなくさないため、スタンド側にはキャップも取り付けておいてください。



お知らせ

- 取りはずしたスタンドは、大切に保管してください。
- スタンドを取り付けるときは、今回と逆の手順で行なってください。



お知らせ

ネジ穴寸法は、75mm × 75mm です。
VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
本機の重量は 7.3kg です。本機の重量に合った壁掛け 金具を使用してください。取り付けネジのサイズは、M4 × 7mm（4 本）をご使用ください。ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャー を入れて調整ください。

ネジ穴寸法：75mm × 75mm (VESA 規格)
取り付けネジ：M4 × 7mm × 4 本

⚠ご注意

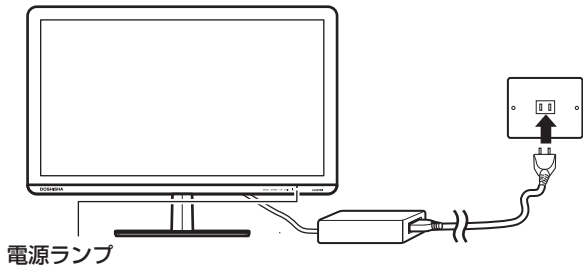
- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します（ワッシャーを入れて調整ください）。
- ケーブル類の位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取りはずしてください。
- 取りはずしたスタンドと固定用ネジは大切に保管してください。

電源を入れる／電源を切る

電源を入れる

1 **AC アダプターを本体の DC 入力端子に接続する**
AC アダプターには、電源コードを取り付けておきます。

2 **ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む**
電源ランプが緑に点灯し、自動で電源が入ります。



⚠ご注意

- 電源投入後、入力切換(→ 15 ページ)での設定したモードでの入力信号が確認できない場合は、自動的にスタンバイ状態に移行します (電源ランプ緑点滅)。
- 入力信号を確認できると、自動的にパネルが点灯します。
- 電源ボタン [⏻] を押すと電源ランプが消灯し、電源オフ状態となります。再度電源ボタン [⏻] を押すことで電源オンします。

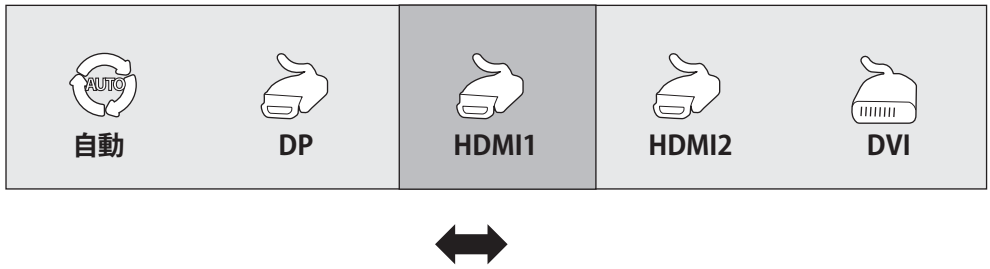
電源を切る

1 **電源ボタン [⏻] を押す**
電源ランプが消灯し、電源が切れます。

⚠ご注意

- 長期間使用しないときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントからはずしてください。

接続した機器の映像を見る（入力切換）



本機へ接続したパソコンや AV 機器などの入力を切り換えます。

入力切換をする

1 **メニュー画面などが表示されていない状態で右ボタン [UP] を押す**
入力切換画面が表示されます。
現在表示されている画面の入力モードが赤色になっています。

2 **右ボタン [UP] および左ボタン [DOWN] を繰り返し押して入力モードを選ぶ**
赤色の部分を右ボタン [UP] および左ボタン [DOWN] で移動させて、希望の入力モードに移動させます。

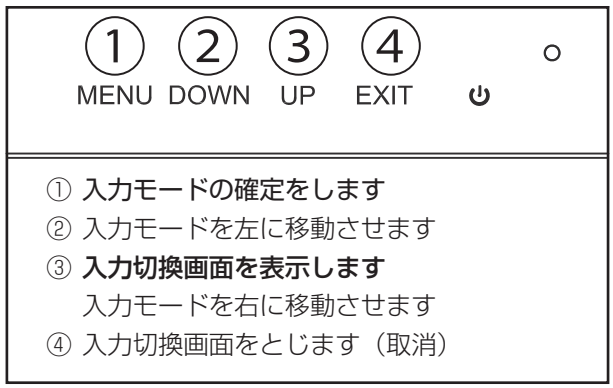
3 **メニュー確定ボタン [MENU] を押して入力モードを決定する**

⚠ご注意

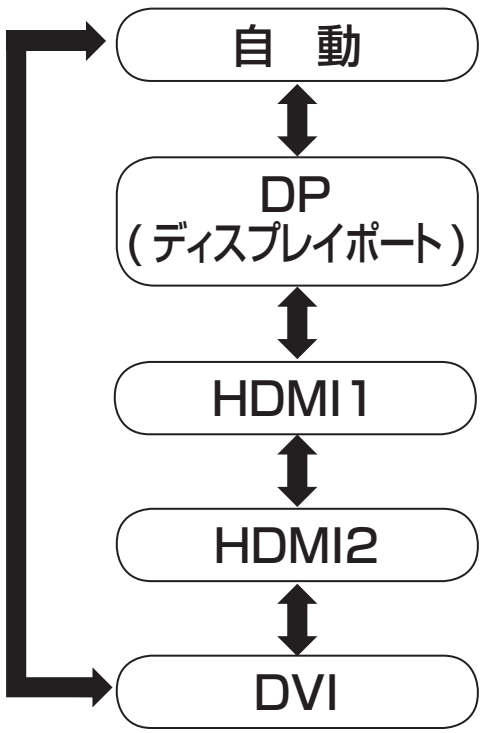
- 電源投入後、入力切換での設定したモードでの入力信号が確認できない場合は、自動的にスタンバイ状態に移行します (電源ランプ緑点滅)。
- 「自動」以外の設定では、入力されている信号があっても、自動的に切換されることはありません。
- 手順 2 で入力モードを指定しても、手順 3 のメニュー確定ボタン [MENU] を押さないと、その入力モードには設定されません。

お知らせ

- “自動”に設定しておくと、信号の入力を確認できたモードに自動的に切り換わります。
- メニュー画面の「入力切換メニュー」からも切り換え可能です。(→ 21 ページ)



① **入力モードの確定をします**
② 入力モードを左に移動させます
③ **入力切換画面を表示します**
入力モードを右に移動させます
④ 入力切換画面をとじます（取消）



色モードを切り換える

本機に入力されている映像に対して、プリセットされている色モードの変更を切り換えます。

1 **メニュー画面などが表示されていない状態で左ボタン [DOWN] を押す**

2 **右ボタン [UP] および左ボタン [DOWN] を繰り返し押して色モードを選ぶ**

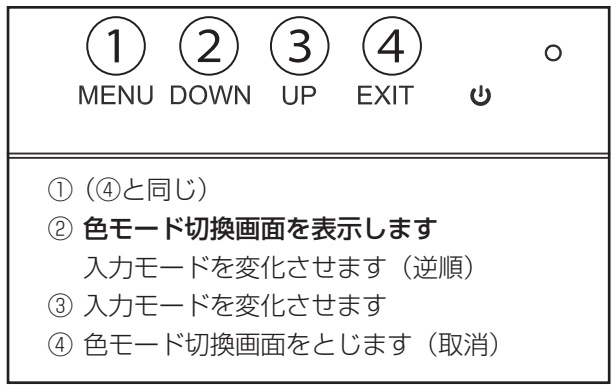
- **STANDARD Standard 標準**
  標準的なくせのない色合いになります。
- **GAME Game ゲーム**
  ゲーム全般に適した色合いになります。
- **MOVIE Movie 映画**
  映画を観賞するときに適した色合いになります。
- **PHOTO Photo 写真**
  写真などを見るときに適した色合いになります。
- **FPS FPS シューティングゲーム**
  シューティングゲーム等の速い動きの映像に適した色合いになります。
  ※FPS: First Person shooter
  ファーストパーソン･シューティングゲーム
- **RTS RTS 戦略ゲーム**
  戦略ゲームなどに適した色合いになります。
  ※RTS: Real Time Strategy
  リアルタイム戦略ゲーム

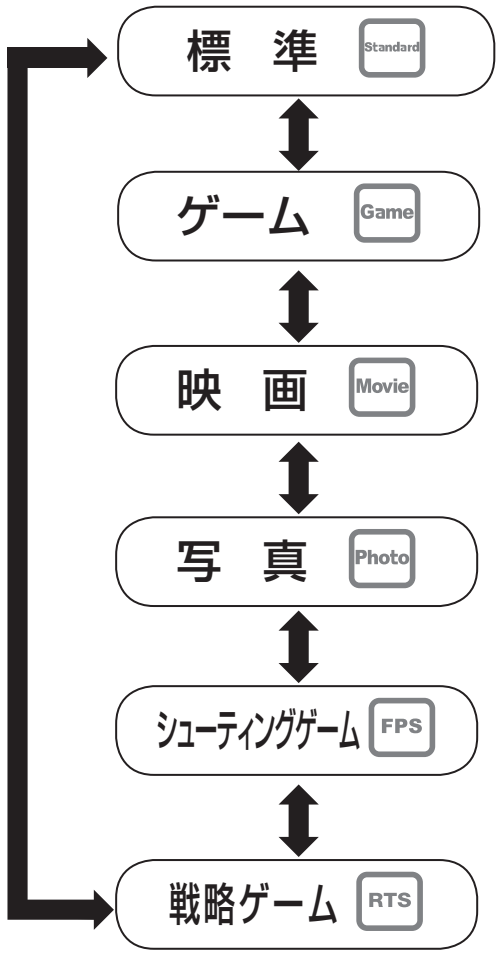
3 **メニュー確定ボタン [MENU] を押して入力モードを決定する**

- 戻るボタン [EXIT] を押しても、手順 2 で設定した色モードを設定前の状態に戻すことはできません。
- 手順 2 で設定したままにしても、色モードが設定されます。。

お知らせ

- メニュー画面の「色調整メニュー」(→ 19 ページ) からも切り換え可能です。





メニュー画面の操作方法

本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目と詳細については、次ページ以降を参照してください（以下の手順は、「色レベル」を設定する場合の例です）。

設定例

1 **メニュー確定ボタン [MENU] を押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **右ボタン [UP]/ 左ボタン [DOWN] で「色調整」を選んでメニュー確定ボタン [MENU] を押す。**
色調整メニューが表示され、左上の「色温度」が選択されている状態になります。
- 確定前の状態に戻すときは、戻るボタン [EXIT] を押します。

3 **右ボタン [UP]/ 左ボタン [DOWN] で「色レベル」を選んでメニュー確定ボタン [MENU] を押す。**
「色レベル」のグラフ表示と文字の色が赤色に変化します（上のイラスト参照）。

4 **右ボタン [UP]/ 左ボタン [DOWN] で「色レベル」の設定を選んでメニュー確定ボタン [MENU] を押す**
右ボタン [UP]/ 左ボタン [DOWN] で「色レベル」の数値が増減し、グラフ表示が変化します。

5 **戻るボタン [EXIT] を押す**
メニュー画面が消えます。

① **メニュー確定ボタン [MENU]**
メニュー画面を表示します
設定を確定させます

② **左ボタン [DOWN]**
左に移動・数値を減らします

③ **右ボタン [UP]**
右に移動・数値を増やします

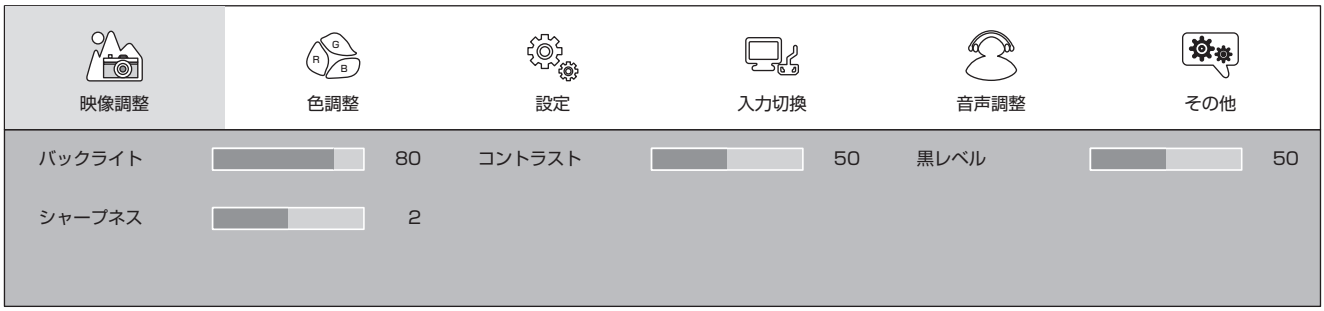
④ **戻るボタン [EXIT]**
設定前の状態に戻します（取消）

お知らせ

- 一定時間メニューを表示したままにすると、自動的にメニュー表示が消えます。
- メニュー表示についての設定（位置や表示時間など）が「その他メニュー」（→ 23 ページ）にあります。メニューがすぐに消えてしまってわかりにくいときは、メニュー表示時間を長めに設定してみてください。

映像調整メニュー

映像調整メニュー画面／数値・設定は初期値



現在選択している入力モード の映像を、お好みの画質に調整できます。

バックライト

バックライトの明るさをお好みに合わせて調整できます。
[0 ～ 100]

コントラスト

設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定が高いほど明暗の差が強調されます。
[0 ～ 100]

黒レベル

設定値が低いほど黒色が強調された色合いになります。
[0 ～ 100]

シャープネス

設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほどくっきり表示されます。
[0 ～ 4]

色調整メニュー

色調整メニュー画面／数値・設定は初期値

現在選択している入力モードの映像を、お好みの色合いに調整できます。

色温度

本機には、5 種類の色温度設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **5800K**
  赤みが強調された色合いになります。
- **6500k**
  標準的な色合いになります。
- **9300K**
  青みが強調された色合いになります。
- **sRGB**
  パソコンの色空間設定を sRGB に設定した場合は、本機も sRGB に設定してください。
- **ユーザー**
  色温度をお好みに合わせて調整した設定が「ユーザー」に記憶されます。

色温度調整

色温度設定で「ユーザー」を選んでメニュー確定ボタン [MENU] を押すと、個別に色合いを調整できます。

- **赤**
  設定値が低いほど赤色が弱まり、設定値が高いほど強調されます。
- **緑**
  設定値が低いほど緑色が弱まり、設定値が高いほど強調されます。
- **青**
  設定値が低いほど青色が弱まり、設定値が高いほど強調されます。

色モード

本機に入力されている映像に対して、プリセットされている色モードの変更を行ないます。各種色モードの説明は「色モードを切り換える」(16 ページ) を参照してください。

ガンマ

ガンマ値を設定します。ガンマ値が高いほど、画像が白っぽくなります。

色調

色の濃さの設定値が低いほど色が薄く、設定値が高いほど色 が濃くなります。
[0 ～ 100]

色レベル

画面の色あいを紫っぽくしたり、緑っぽくしたりします。

ブルーライトガード

ブルーライトガード機能のオン、オフを切り替えることができます。

お知らせ

- 「ブルーライト」とは可視光 (目に見える光) のうち、波長が短い (380nm ～ 465nm [nm:ナノメートル]) 青色の光のことです。
- ブルーライトガード機能は、画面から発する光のうち、上記の「ブルーライト」を抑える機能です。

⚠ご注意

- ブルーライトガード機能をオンにすると、青色成分が抑えられるため、映像の色調が変わります。

設定メニュー

設定メニュー画面／数値・設定は初期値

映像調整	色調整	設定	入力切換	音声調整	その他
DPバージョン 《 1.2 》		DDC/CI 《 オン 》		スーパー鮮明 《 オフ 》	
アスペクト比 《 フル 》		DP EDID 《 4K2K@60Hz 》		OD 《 オフ 》	

設定メニューでは「DP バージョン」「DDC/CI」「スーパー鮮明」「アスペクト比」「DP EDID」「オーバードライブ」の設定を変更できます。

DP バージョン

DP(ディスプレイポート)端子のバージョンを設定します。

DDC/CI

DDC/CI 機能のオン、オフを切り替えることができます。

※ Display Data Channel Command Interface
対応するソフトで本機を制御することができます。

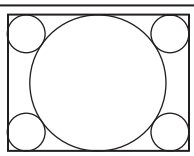
スーパー鮮明

コントラストを鮮明に表示させます。

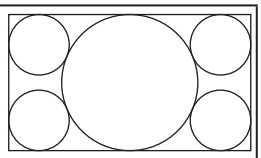
アスペクト

入力映像に適した画面サイズを選ぶことができます。
（イラストは各モードでベースを表示した例）

ベース

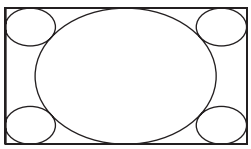


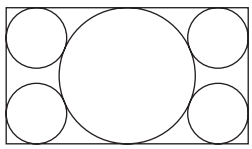
4:3(640×480、1024×768など)で出力



16:9(1920×1080など)で出力

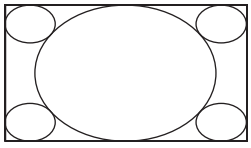
フル

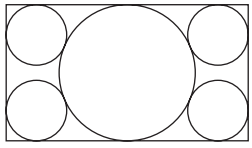




画面いっぱいに拡大して表示 します。

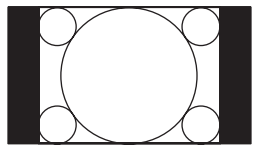
16：9

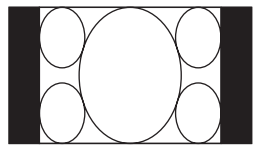




16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

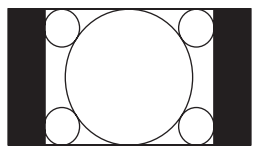
4：3

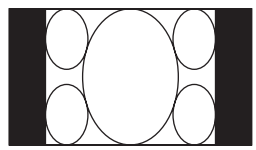




4：3 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。それより大きい画像は拡大または縮小されます。

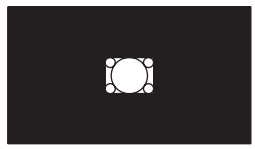
5：4



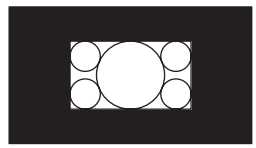


1280 × 1024 などの 5：4 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。それより大きい画像は拡大または縮小されます。

1：1



（1024×768の例）



（1920×1080の例）

ベースの映像を、拡大せずにそのままの解像度で表示します。画面の大きさはベースの解像度によります。(ベースの解像度が低いと、画面は小さく映ります。)

※2560x1440の映像は、1:1表示ができません(フルを選んだ場合と同じ表示になります)。

DP EDID

DP(ディスプレイポート) 端子の EDID 値を切り換えることができます。

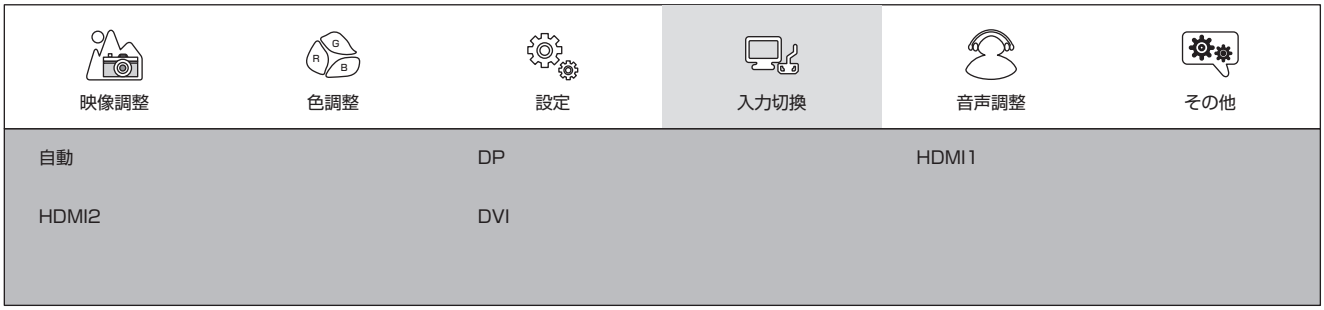
オーバードライブ

オーバードライブ機能のオン , オフを切り替えることができます。

オーバードライブをオンすると、動きの速い映像への追従がよくなります。

入力切換メニュー

入力切換メニュー画面／数値・設定は初期値



本機へ接続したパソコンや AV 機器などの入力を切り換えます。

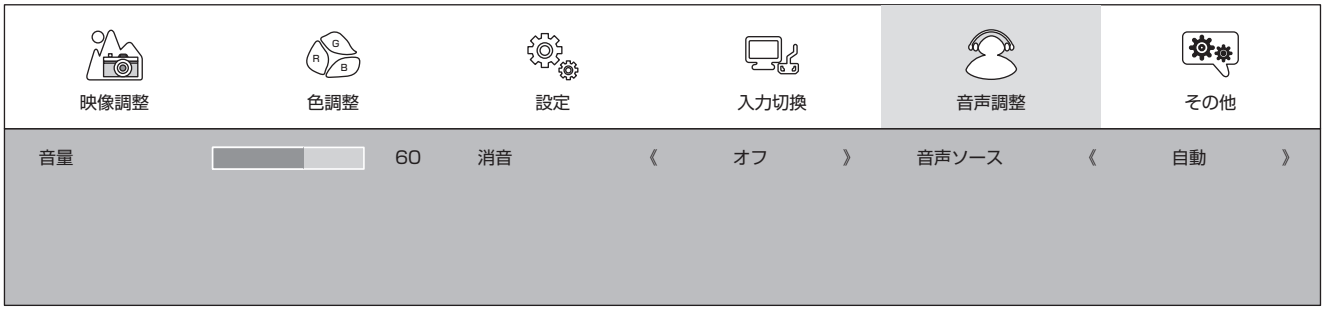
- **自動**
  映像信号を検出し、自動的に切り換えます。
- **DP**
  DP(ディスプレイポート) 端子に切り換えます。
- **HDMI1**
  HDMI1 端子に切り換えます。
- **HDMI2**
  HDMI2 端子に切り換えます。
- **DVI**
  DVI 端子に切り換えます。

お知らせ

- 入力切換はメニュー画面に入らなくても切り換えすることが可能です（→ 15 ページ）。

音声設定メニュー

設定メニュー画面／数値・設定は初期値



現在選択している入力の音声に関する設定を行ないます。

音量

本機から出力されるスピーカーの音量を調整します。
[0 ～ 100]

消音

消音のオン、オフを切り替えることができます。

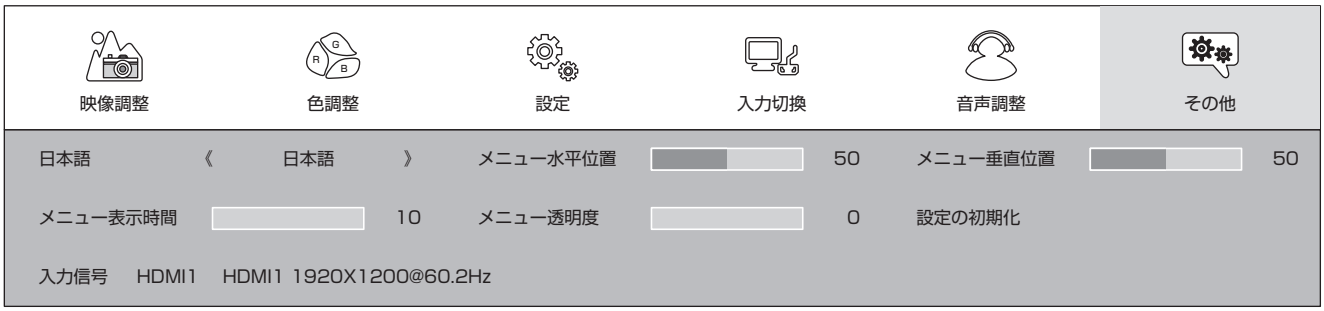
音声ソース

音声信号の入力ソースを切り換えることができます。

- **自動**
  入力された音声信号を検知して自動的に選択します。
- **アナログ**
  アナログ音声信号を有効にします。
- **デジタル**
  デジタル音声信号を有効にします。

その他メニュー

その他メニュー画面／数値・設定は初期値



表示言語やメニュー画面についての設定を変更します。

言語設定

メニュー画面等の言語を変更できます。
言語は、日本語、英語、韓国語、中国語 (簡体)、中国語 (繁体)、フランス語、ドイツ語から選択することができます。

メニュー水平位置

メニュー画面の水平位置を調整することができます。
[0 ～ 100]

メニュー垂直位置

メニュー画面の垂直位置を調整することができます。
[0 ～ 100]

メニュー表示時間

メニュー画面の表示時間を変更することができます。
[10 ～ 60]（秒）

メニュー透明度

メニュー画面の透明度を調整することができます。
[0 ～ 100]

設定の初期化

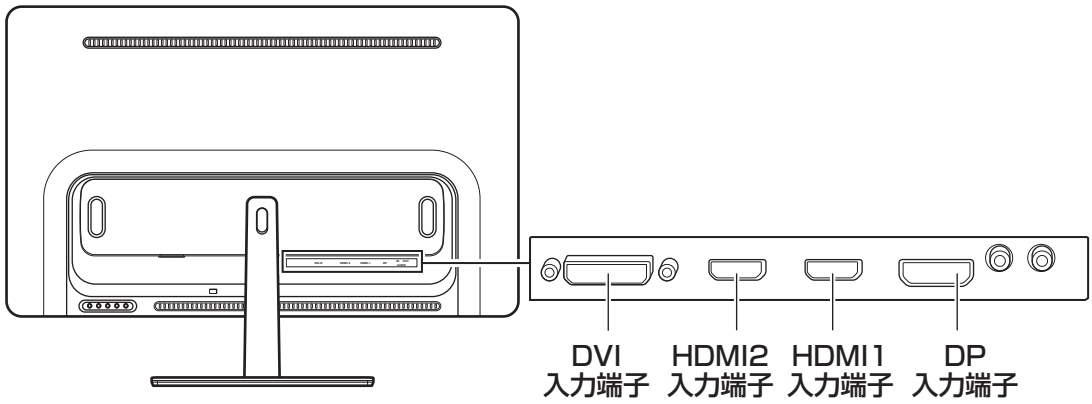
各種設定値を初期化します。

入力信号

現在表示されている信号の情報を表示します。

表示解像度

● HDMI ／ DP ／ DVI 入力端子による表示解像度



DVI 接続での表示

以下の解像度で表示することが可能です。

接続端子	解像度（ピクセル）	周波数
DVI	3840 × 2160	30Hz
	2560 × 1440	30Hz
	1920 × 1080	60Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1440 × 900	60Hz
	1366 × 768	60Hz
	1280 × 1024	60Hz
	1280 × 720	60Hz
	1024 × 768	75Hz
	1024 × 768	60Hz
	800 × 600	75Hz
	800 × 600	72Hz
	800 × 600	60Hz
	640 × 480	75Hz
	640 × 480	60Hz
	720 × 400	70Hz

※ DVI 端子での接続では、音声信号は出力されないため、付属オーディオケーブルの接続が必要です（→11ページ）。

※本機のDVIでの接続は、アナログ接続には対応していません（DVI-I端子であってもアナログ入力は表示されていません）。

HDMI 接続での表示

以下の解像度で表示することが可能です。

接続端子	解像度（ピクセル）	周波数
HDMI1	3840 × 2160	60Hz
	3840 × 2160	30Hz
	2560 × 1440	60Hz
	1920 × 1080	60Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1600 × 900	60Hz
	1366 × 768	60Hz
	1280 × 1024	60Hz
	1280 × 720	60Hz
	1024 × 768	60Hz
	800 × 600	60Hz
	640 × 480	60Hz
	720 × 400	70Hz
HDMI2	3840 × 2160	30Hz
	2560 × 1440	30Hz
	1920 × 1080	60Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1600 × 900	60Hz
	1366 × 768	60Hz
	1280 × 1024	60Hz
	1280 × 720	60Hz
	1024 × 768	60Hz
	800 × 600	60Hz
	640 × 480	60Hz
	720 × 400	70Hz

HDMI1 端子の接続は HDMI2.0、HDCP1.4 に対応、HDMI2 端子の接続は HDMI1.4a、HDCP1.4 に対応しています。

DP 接続での表示

以下の解像度で表示することが可能です。

接続端子	解像度（ピクセル）	周波数
DP	3840 × 2160	60Hz
	3840 × 2160	30Hz
	2560 × 1440	60Hz
	1920 × 1080	60Hz
	1680 × 1050	60Hz
	1600 × 900	60Hz
	1366 × 768	60Hz
	1280 × 1024	60Hz
	1280 × 720	60Hz
	1024 × 768	60Hz
	800 × 600	60Hz
	640 × 480	60Hz
	720 × 400	70Hz

お知らせ

何も表示されないときは、

- 電源を入れなおす
- 右ボタン [UP]（画面側から見て左から 3 番目）を押して、入力切換画面を表示させる
- そのまま右ボタン [UP] ボタンを何度か押して、自動 [AUTO] を選択する
- メニュー確定ボタン [MENU]（一番左）を押して確定させる

を試してみてください。

それでも表示されないときは、接続ケーブル関係、パソコンなどのモニタ・ディスプレイの設定などを再確認してみてください。

⚠ご注意

- すべての解像度がすべてのパソコンで使用できるわけではありません。
- 使用のパソコンによって使用できる解像度は違いますので、接続するパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。

各種ドライバなど

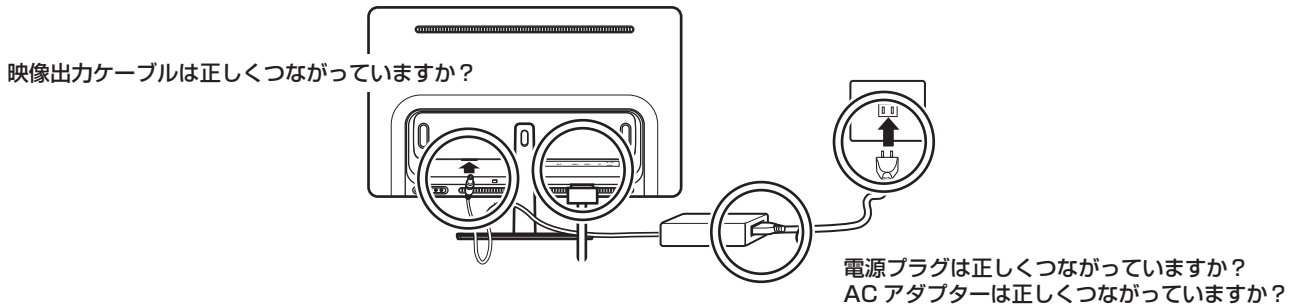
現在、本機専用ドライバなどの提供は行なっておりません。プラグアンドプレイモニタ、一般的なモニタなどを選択の上、使用してください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、映像が映らなかったりした場合は、まず以下の接続を確認してください。



こんな場合は故障ではありません

- 画面上の赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は高精度の技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る
  部屋の温度変化によってキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

全般

症状	原因	対処方法
すべての操作を受け付けない	• ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります。	• 本体の電源コードを抜き、5 分程放置し、再度電源を投入して下さい。それでも操作を受け付けない場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンターにご連絡ください。
電源が入らない	• 電源コードの電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	• 電源コードの接続を確認してください。

映像

症状	原因	対処方法
映像が出ない	• 外部機器と正しく接続されていますか？	• 外部機器の接続と電源を確認してください。
	• 明るさは正しく調整されていますか？	• コントラスト・バックライトの調整をし直してください。
	• DVI 端子に変換コネクタなど使ってアナログ出力を入力されていませんか？	• HDMI 端子、DP（ディスプレイポート）、DVI 端子（デジタル出力）で接続してください。
映像も音声も出ない	• 電源コードの電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	• 電源コードの接続を確認してください。
	• 電源は入っていますか？	• 電源を入れてください。
	• 実際の入力と異なる入力モードになって いませんか？	• 正しい入力モードに設定してください。
	• パソコンの信号タイミングが、本機の仕様と合っていますか？	• 本機が対応している信号に変更してください。
映りが悪い	• 信号ケーブルは正しく接続されていますか？	• 信号ケーブルの接続を確認してください。
色あいが悪い、色が薄い	• 色温度、色あいは正しく調整されていますか？	• 色の調整をし直してください。
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？	• コントラスト・バックライトの調整をし直してください。
接続した機器の映像が出ない	• 外部機器は正しくつながっていますか？	• 外部機器の接続と電源を確認してください・

音声

症状	原因	対処方法
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？	• 音量設定を確認してください。
	• DVI 端子のみで接続していませんか？	• 付属のオーディオケーブルで接続してください。
音が出る	• 音量が 1 以上になっていませんか？	• 本機から音を出さないようにするには、音量を最小にしてください。

主な仕様

液晶ディスプレイ

型名		D281US
液晶パネル	画面サイズ	28V 型
	バックライト	LED
	画素数	3840(H) × 2160(V)
	応答速度	5ms
	視野角 (最小値)	左右約 170°（MIN）/ 上下約 160°（MIN）
	輝度 (最大値)	300cd/m²
	コントラスト比 (標準値)	1000：1
音声出力 (スピーカー)		3W + 3W
入力・出力端子	HDMI1 入力	HDMI2.0 対応、HDCP1.4 対応
	HDMI2 入力	HDMI1.4a 対応、HDCP1.4 対応
	DP 入力 × 1	Displayport Version 1.1、1.2 対応
	DVI 入力× 1	Dual-DVI
	オーディオ入力 × 1	口径 3.5mm ステレオミニジャック
	ヘッドフォン出力 x1	口径 3.5mm ステレオミニジャック
VESA マウント		75mm × 75mm
使用環境 / 保管環境		温度：5℃ ～ 40℃ / − 20℃ ～ 50℃ 湿度：20% ～ 80%RH/ 10% ～ 90%RH（結露なきこと ）
サイズ（W.D.H）	約	680.1 × 192 × 504.1（スタンド含む）
重量	約	7.3kg
消費電力		50W（待機消費電力 0.5W）
付属品		スタンド× 1、スタンド固定ネジ× 1 本、取扱説明書× 1 部、保証書× 1 部、 AC アダプタ× 1 個、HDMI ケーブル× 1、アナログオーディオケーブル × 1

本機をご使用できるのは、日本国内のみで海外では使用できません

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認してください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店もしくはドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をご確認の上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。
保証期間……お買い上げ日から 1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンターまでお問い合わせください。

株式会社ドウシシャ
（東京本社）〒 108-8573　東京都港区高輪 2-21-46
（大阪本社）〒 542-8525　大阪市中央区東心斎橋 1-5-5
■故障・修理についてのご相談に関しては…
⇒ドウシシャ福井 AV サービスセンター
【受付時間】9：00 ～ 17：00（土日祝日以外の月～金曜日）
〒 915-0801 福井県越前市家久町 41-1
TEL 0778（24）2779　FAX0778（24）2799
※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話いただきますようお願いいたします。
※ FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げ販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しくご連絡ください）

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ドウシシャ（以下「当社」）は、お客さまよりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
当社は、お客さまの個人の情報を、製品へのご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合は、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年間です。

MEMO

MEMO

DOSHISHA CORPORATION

発売元　株式会社ドウシシャ
株式会社ドウシシャ　福井 AV サービスセンター
〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1
☎ 0778（24）2779
FAX 0778（24）2799

7B15B